第１回　大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会　議事録

日時：令和元年11月25日　14時～16時　　　場所：役場3階大会議室

（1）地方創生について

（2）第1期 人口ビジョンについて

●委員

大刀洗町は、小郡市と比べると圧倒的に企業が多いと感じている。社会増もその影響が大きいのではないか。企業数はここ10年間増えているなど、増減はいかがか。

○事務局

直近の経済センサスの数値で比較しますと、Ｈ24：540事業所⇒Ｈ28：529事業所となっており、町内の事業所数は減少しています。しかし、事業所における従業員の数は増加しております。※事業所の分野等、詳細の数値は改めて分析いたします。

●委員

賃貸と分譲のどちらが増えたなどわかるか。大刀洗町は周辺より地価が安いことが戸建て購入の際などにプラス要素として働いているのでは。

○事務局

賃貸と分譲については、数値は出ておりませんが、地価については近隣と比較し安いというデータはございます。また、Ｈ31：戸建て3,745戸、集合住宅99棟（木造住宅に限る）となっており、前年度（Ｈ30）と比較して、戸建て45戸増、集合住宅6棟増と住宅の増加がみられます。

●委員

地区、校区別だと人口に差が生まれている印象があるが、実際はどうか。

○事務局

やはり地域（校区）によってばらつきはあります。菊池校区は一貫して増加しておりますが、大堰校区は減少しています。

（3）第1期 総合戦略について

①行ってみたい住んでみたい大刀洗町へのひとの流れをつくる。

移住支援金

●委員

新しく開始した、移住支援金の対象は東京の方だけでしょうか？県内からの移住者に対しても支援した方がよいと思っている。

○事務局

　対象者はあくまでも、東京や千葉、埼玉など東京圏の方です。さらに、この事業は移住支援の側面だけではなく、担い手不足の解消もあるため、移住かつ、県が指定した県内の企業に就業すること等の要件もあります。

●委員

この事業は今後、何年続くなど期間は設定されているのか？また、国の支援が打ち切りになった際には、町が費用を負担してでも続けていくなどの見通しはあるのか。

○事務局

国も何年ということは現状明らかにしていません。町としては、国の支援があるので事業を開始したということもあります。打ち切りになった際は、継続するのか、他の方法がよいのか検討したいと思います。

地域間連携プロジェクト

●委員

アンテナショップが打ち切りになり、今後の近隣自治体と連携した首都圏へのアプローチの方向性を教えて欲しい。

○事務局

現段階では、連携自治体とともにアイディア出しを行っているところであり、事業内容ははっきりと決まっていません。今後検討してきます。

定住促進住宅

●委員

床面積が70㎡くらいとあるが、福岡都市圏からの移住と考えると100㎡くらいあった方が魅力的な物件として映るのでは？

○事務局

所得上限なども設けながら運用させていただいているので、ターゲット層を考えると現在の家賃負担、それに見合う広さが妥当と考えています。

②子どもも親も、共に輝けるようみんなで応援する。

であい創生プロジェクト

●委員

であい創生プロジェクトは廃止の方向ですか？

○事務局

町単独事業では参加者が満たないなどあるので、今後は広域圏などで連携する方向に力を入れて行きたいです。

●委員

　町単独でやると、どうしても自分の知り合いに合うかもしれない等の理由で、参加を躊躇する方も出てくると思うので広域で取組んだ方がよいかもしれない。

●委員

広域圏で実施した時に申込みが多いのであれば、回数を増やすなどの検討はあがっているのか。

○事務局

現状、予算の縛りがあるため回数を増やすなどの対応はできていません。今後、広域内で検討していきます。

子育て支援事業全般

●委員

　イキメン事業で数値を見ると一定の効果はあがっていると思いますが、実情として母（父）親学級はどのように行われていますか？知識や親同士の繋がりはいかがか？

　子育て相談の中で「孤立」という言葉があるが、孤立の定義などはありますか？

○事務局

イキメンやパパママ学級については、全体の参加者が増えている。夫婦で参加する割合が増え、お母さんだけではない需要が増えた印象があります。今まではママ目線での話が多かったがパパ目線のお話もさせていただいています。

孤立については、具体的な定義まではありませんが、全戸訪問をする際に、質問をたくさん用意している方等もいて、周りに相談する相手がいないのかなと感じることがあります。その方達にしっかりと寄り添い、少しでも不安を解消していくことが大切だと考えています。

○事務局

　子育て相談事業では、子ども支援ワーカーを常時配置しています。数字には出ておりませんが、年間でたくさんの相談は受けておりまして、こちらの資料には、その中でも相談（悩み）の内容が一定程度解消されたケース（件数）を記載しています。

●委員

新生児訪問は実施していないのですか？

○事務局

本来は早い段階で訪問できたらと考えておりますが、現在は行っていません。訪問は２ヶ月までに行っています。ただし、医療機関と連携し個別に不安な世帯の情報提供が産婦人科等からあった場合は、都度対応しています。

③しごとに誇りや、やりがいを感じられるよう応援する。

しごと全般

●委員

全体的に、廃止の事業が多いですが、新たな事業で計画していることはありますか。

○事務局

現在、具体的にこれをやるというような事業内容は固まっていませんが、現在行っている事業を、改善、視点を変えて実施していけたらと考えています。

●委員

　過去に策定された人口ビジョンＰ13を見ると食品製造業の比重が高いのがわかるが、生産性があまりにも低すぎる。ここにも問題があるような気がするので、余裕があれば分析して欲しい。

創業支援事業

●委員

起業支援などはあるのか。例えば、助成金制度などはありますか？うきは市は10万円の支援があるが。

○事務局

現状としましては、大刀洗町として助成金制度はありません。近隣の状況を確認して検討していきたいと思います。

●委員

　例えばセミナー開催の情報を届ける際に、広報やＨＰなどのツールで情報を発信することもよいが、窓口でも積極的に声かけしていけるとよいと思う。

④いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる。

生活支援交通整備事業

●委員

路線バスは、今村天主堂で停まるが、大堰駅まで延伸することはできないのか。延伸すればもっと利用者も増えるはずだ。

○事務局

町としましては、延伸して欲しい要望は伝えています。しかし、運行事業者である西鉄との協議の結果、予算や運転士の労働時間の都合上、難しいという回答をいただいています。まずは、出来る範囲で実施、今後の延伸について引き続き要望して行きたいと考えています。

●委員

町民にとっては、裏方（実現できなかった背景や実現に向けた検討内容等）が見えないので、行政に対して要望ばかりになってしまうと思う。朗報ばかりでなく、なし得なかった理由等も住民に伝えて欲しい。そうすることで、住民もどうすれば良いかを考えることができると思う。住民の声を集めることで解決に向かうこともあると思う。

○事務局

　いろいろと協議や検討をしたところですので、公表できる部分は町民の方と共有していきたいと思います。

また、西鉄路線バスだけではなく、町内の移動手段の確保については、長年の課題でありますし、高齢の方が増加していく今後を見据えましても検討していく時期にあると考えています。本町にあった一番よい方法（＝利用される方が利用し易い手法）を地域と協議検討しながら進めていきたいと考えております。

●委員

国土交通省が行なっている人工知能等の最先端技術を活用する先進事業のメニューがあるはずだ。そういうものも検討してみるとよいと思う。

若者（高校生）に対するアプローチ

●委員

大刀洗町には中学校１つと聞いていますが、高校はみんなどこへ行きますか？

○事務局

小郡、久留米、朝倉、うきは等、大刀洗町は多様に受験が可能です。

●委員

　お聞きした趣旨としては、第２期では国が高校生（若者）をキーワードとして示しています。町から出て行ったバラバラになった子ども達に町に残ってもらうために何ができるか（有効か）などもしっかり議論していけると良いと思う。

⑤ふるさとの魅力をみんなで共有し発信する。

観光（交流人口）について

●委員

「大刀洗平和記念館」がすぐ近くにあることだし、筑前町ともっと連携することはできないのでしょうか？

○事務局

現状、観光ルートは平和記念館からキリンビール工場、温泉地等で組まれることが多く、そこに潜り込むコンテンツを探る必要があると考えております。検討していきたいです。

●委員

　町の平地を利用して、町の中をサイクリングしてもらう仕掛けはどのようになっていますか？

○事務局

　小郡と連携して傍示杭（ぼうじぐい）を町のいたるところに立てて、観光してもらうというルートを作ったりしています。サイクリングについても、町役場で貸し出し一定数の利用者は出ています。今後も、町を知ってもらう、訪れてもらうきっかけとなるようにサイクリングルート等を増やして行きたいと思いますし、併せて町民の皆さんにも改めて町の魅力が分かってもらえるような取組みを検討していきたいです。

（4）アンケート結果について

○事務局

　人口減少への有効な対策については、アンケート結果からも「子育て支援の充実」と

「産業の活性化」が有効だという回答が多いようです。

　第２期戦略の重点的な取組みとして各施策を検討していきたいと思います。

５．議題

（1）第2期　地方創生の方針について

（2）第2期　人口ビジョンについて

（3）第2期　総合戦略について

○事務局

　人口ビジョンについては、データの時点修正を行います。将来展望人口は第１期の数値を据え置きします。また、戦略については国が示す新しい視点やＳＤＧｓとの関連性を取り込みながら、リニューアルする形で策定させていただきます。

●委員

定住促進住宅等の整備や様々な施策により子育て世代が増えて嬉しい限りだが、その世代にとってなくてはならない保育園は慢性的な保育士不足です。園のハード面は一定の整備ができていると感じているが、肝心の保育士がいないのであれば、待機児童が発生してくる。住んでいる方が増えれば、それだけ需要も増えてくると考えますので、ハード面ばかりではなく、人材不足のＰＲなど何か一緒に打開策を考えていきたい。

●委員

　移住支援も大切ではあるが、住んでいただいた方が根付いてもらうためには、子育てや教育は大切なポイントとなる。保育園、小学校、中学校の更なる充実が必要。

　併せて、子育て中のお母さんたちも働ける場所も作っていければ、もっと良いと思う。

○事務局

保育園には毎年処遇を改善のためとして上乗せの交付をしているところですが、これだけでは現状を打開できていない状況です。今年度は、新たに奨学金に対する補助制度を確立したところですが、現段階では申請がありません。

また、保育の無償化によりこれまで保育料助成を行ってきた財源を利用して、別の方法で支援できないか検討していけたらと思います。

○事務局

　子育て中の方が働ける場所についてですが、方法としては２つあると考えております。

１つ目が、既存の企業に雇用していただくこと。２つ目は、企業を誘致し新たな雇用を生み出していく方法です。企業誘致に関しては、現在町で紹介できる土地がありません。

今後、既存の企業に働きかけを行うとともに、土地利用の各種計画の見直しを含め、企業を誘致できる土地の確保から検討していけたらと考えております。

●委員

奨学金の補助制度について保育士になろうとする人がもっと知れるようにした方が良いと思う。今回は自分自身が保育士の就職を検討していたが、その時には制度のことを知らなかった。少し話が戻ってしまうが中学を卒業して、各高校に通うようになるが、範囲は広くても、希望する普通科とかにいけないケースもある。範囲は広いようだが、まだまだ色々なところが受験できると良いと思う。また、町内に高校が無いので、甘木鉄道などの公共交通は学生にとって大切なものだと思うのでもっと充実していけるとよいと感じる。

○事務局

　今後は、第２期の戦略の体系図にそって各施策の検討を行いたいと思います。様々な分野の視点から、ご意見をいただきより効果的な戦略にしていきたいと考えておりますので、ぜひ皆様からも引き続き活発なご意見をお願いいたします。